

YANAGAWA
SOLARBOAT FESTIVAL
REGULATION

2024
柳川ソーラーボート大会
レギュレーション



水郷柳川の水の祭典実行委員会
柳川ソーラーボート競技会

SUI! SUI! SUI! 水

2024柳川ソーラーボート大会(第27回)開催と参加者募集のお知らせ

柳川市は、有明海に面し筑後川と矢部川の河口に位置し、市内には掘割が縦横に巡り、文化的景観としての要素も整った自然と生業が共生した独特の水郷景観を形成しています。そのお堀をどんこ舟で巡る川下りの運航コースでもあり、国の名勝に指定された「水郷柳河」の「城堀」で開催致します。

本大会は、太陽エネルギーの有効利用と水辺景観保全の啓発などに意義ある大会として継続してまいりましたが、学生の参加が多く、技術立国・ものづくり大国としての日本の技術思想教育としても意義深いものがあると存じます。

つきましては、ソーラーボート大会のレギュレーション（参加要項）を掲載しておりますので、本大会の趣旨をご理解、ご賛同のうえ、皆様のアイデアで素晴らしいソーラーボートを製作され、多数ご参加いただきますようお願い申し上げます。

2024年3月

水郷柳川の水の祭典実行委員会

会長 横山 義嗣

柳川ソーラーボート競技会

代表 加藤 巧

大会概要

1. 大会名称 2024柳川ソーラーボート大会

2. 主 催 水郷柳川の水の祭典実行委員会

3. 開催日 2024年 7月28日（日）

☆受付・船体検査

午前8時30分受付開始（予定）

☆開会式

☆競技

●スラロームコンテスト

●周回レース（決勝）

※今年度は周回レースの予選は実施しません。

☆閉会式（表彰式）

午後4時30分終了（予定）

4. 大会会場

①メイン会場 からたち文人の足湯公園（亀の井ホテル柳川 東隣り）

②レースコース 柳川市内川下りコース

5. 競技内容

●クラス分けについて

今大会では、クラス分けを行わない。ただし、参加チーム数によってはクラス分けをすることがある。

※クラス分けをする場合、クラスの範囲は下記のとおり

一般の部…企業、4年制大学、専門学校等、各種団体等

学生の部…高等専門学校、高等学校

◎学生の部に該当するチームの範囲

学生チームとは、所属が高等専門学校・高校で、主体が学生であり、登録メンバー（代表者および選手）の半数以上が学生で構成されていること。

4年制大学、専門学校は、一般の部（社会人チーム）とする。

※競技内容は主催者の都合により変更する場合があり、変更内容は別に通知する。

●スラロームコンテスト

- ・約150mの区間にランダムの間隔（約6m～10m）で設置されたブイをスラロームしてタイムを競う。

●周回レース・決勝

- ・予選タイムの順にスタートポジションを決定し、一斉にスタートして3周（約10km）の順位を競う。決勝に出場するチームには400Wの地上太陽光発電設備を貸し出し、電力補給ピットとして使用できる。



1. 参加申込書・船体検査関連書類の提出

下記ホームページに掲載の申し込みフォームから必要事項を入力し、オンラインで提出する。同時に参加登録料を振り込むこと。また、下記提出書類「4 委任状」については、同ホームページからダウンロードし、必要事項の記入、押印のうえ、速やかに事務局まで送付すること。参加登録料の入金及び委任状の到着をもって参加申込完了となる。

2024年5月15日（水）[受付終了]

柳川ソーラーボート競技会ホームページアドレス
<http://www.yanagawa-solarboat.com>

2. 参加登録料

一艇につき 20,000 円

(船体検査料などを含む)

[参加申込と同じチーム名で振り込むこと] 〆切 2024年5月15日（水）

※参加申込後、参加者の都合により参加を取り消す場合、登録料は返金しない。

※競技委員を選出できない場合は、協力金として 5,000 円を追加振り込みすること。

競技委員とは：周回レースの際、コース沿いで運航の安全やルール違反がないかなどの監視及びスラロームコンテストの際にブイの通過確認を行うなど競技開催中の大会スタッフとして従事していただきます。

提出書類

- 1 参加申込書（フォームに入力し、送信）
- 2 誓約書（フォームに入力し、送信）
- 3 船体設計図（ダウンロードし、入力の上、メールで提出）
- 4 委任状（印刷し、押印のうえ、事務局へ郵送）

※書類 3～4 は、小型船舶検査機構への提出書類

送付先

〒832-8601

福岡県柳川市本町87-1 柳川市総務部企画課内

水郷柳川の水の祭典実行委員会事務局

TEL 090-2500-4210 (担当：ソーラーボート競技会 荒巻)

0944-77-8423

FAX 0944-74-5520

メールアドレス ka33563@yahoo.co.jp

振込先 福岡銀行 柳川支店 普通預金 口座番号：1950299

名 義：水郷柳川の水の祭典実行委員会 事務局長

(スイゴウヤカガワミズノサインジッコウイインカジムキヨクチヨウ)

3. 船体搬入

午前9時30分までに搬入受付・船体検査を済ませておくこと。
※予選開催の有無によって時間が変更となる場合がある。

賞金・賞品

①周回レース

優勝～3位まで：賞金・賞状

②スラロームコンテスト

優勝～3位まで：賞金・賞状

※参加チーム数によって、変更となる場合がある。

参加上の注意事項

1. 参加条件

この大会に参加するためには、2人以上で構成されたチームでソーラーボートを製作し、大会会場まで各自搬入できること。また、競技委員1名以上を選出し、当日協力できること。選出できない場合は、協力金として5,000円支払うことで参加することが出来る。

2. 選 手

- 申込書には選手名を必ず明記すること。また、選手名に変更があった場合は速やかに主催者まで報告すること。
- 本大会の開催期間以外に練習等でコース内を走行する時は、小型船舶操縦士免許が必要となるので注意すること。
- 主催者が必要と認めた場合には、選手に医師の診断を受けさせる場合がある。また、診断により乗船不適当と認められた場合は速やかに選手の交代を申し出ること。
- 参加者は必ず健康保険証を携帯すること。
- ドライバーは競技前の選手ミーティングへの出席義務がある。
- ドライバーは泳ぐことが出来なければならない。
- ドライバーはヘルメットを持参し、競技中は着用しなければならない。（フルフェイス以外。カヌー用が好ましい）
- ドライバーはライフジャケットを持参し、すべての競技中着用しなければならない。（J C I 公認のものに限る。）
- 選手は参加要項及び主催者の指示に従い、安全に競技しなければならない。

3. 参加者は次の事項を遵守し、主催者の指示に従わなければならない。

- 主催者の許可なしで大会会場での営業は一切禁止する。
- 主催者は、いかなる場合も、参加者の輸送費・宿泊費等の一切の費用を負担しない。
- 大会会場での肖像権は、主催者が所有する。
- 主催者は、船体の破損その他参加者が起こすトラブル及び参加者が巻き込まれたトラブルには一切責任を持たない。
- 大会終了後は、主催者の指示に従い速やかに撤収すること。
- 主催者は、天候不良等の不慮の事由でコースを変更またはレースを延期、中止する権限を持つ。
- 主催者は、レースの成立についての一切の権限を持つ。
- 船体の異常で沈没等の事態が発生した場合、参加者自身が処理すること。
- 実用新案等の知的所有権に関する権利は参加者にある。それらを保護する責任は参加者にあり、必要とする場合はあらかじめ登録等の処置をしておくこと。
- 大会運営に支障があると思われる事態が発生した場合、参加チームは速やかに主催者まで連絡する義務がある。
- 船体検査後、競技委員長が指名した出走艇、又は船体検査後に改造した艇については、再度船体検査を受けなければならない。

◎船体製作にあたっては次の事項を満足していること。

(動力)

- ・船体は競技時間中に受ける太陽エネルギーのみをそのまま、もしくは蓄えて推進力とし、風力など他の力を利用することはできない。（ただし、座礁した場合の人の手によるパドリングは認める。）
- ・動力の個数は制限しない。
- ・太陽エネルギーの使用方法については、太陽電池以外（熱等）は自由とするが、太陽電池を利用する場合は、次の制限を受けるものとする。

1 ソーラーパネル出力 70W以上100W以下（25°C）
(カタログ値による)

2 蓄電池

- ①主催者の支給する蓄電池4個を使用すること。

GSユアサ小型シール鉛電池 NPH16-12T. 12V. 16Ah
外形寸法. L181. W76. H167mm. 質量6. 2kg

- ②船には4個の内、2個以内を搭載できる。4個の運用方法は自由とする。

※その他の蓄電池は計測・通信・ビルジ排水に使用するものに限り可とする。
ただし、主催者が支給した蓄電池と電気的に接続してはならない。

3 蓄電池の充電に当たっては、船体に取り付けた太陽電池及び周回レース決勝に出場するチームに主催者が貸与する太陽電池による充電は自由とする。

4 感電に対する安全には充分配慮すること。

- ・ドライバーが運転席から離れるときは、自動的にメインスイッチが切れること。
- ・推進機、プロペラの予備についてはこれを認める。
- ・船体については、大会受付時に主催者の船体検査とJCI（日本小型船舶検査機構）の船体検査を受けなければならない。（主催者にて一括申請）

(構造)

- ・船体は安全に旋回、停止、前・後進が出来ること。（川幅15mの所をUターンできること。）
- ・船体の材質は基本的に自由とするが、第三者及び選手に危害を及ぼすおそれがある材質は不可とする。
- ・船体は十分な浮力と復元性を有すること。
- ・船体は転覆など緊急事態に備え、いかなる場合にでも簡単に脱出できる構造とすること。
- ・他の船または岸壁等の障害物に接触しても相手方に損害を与えないような構造にすること。
- ・船体の安全性に問題があると主催者が判断したときは、主催者は参加者に対し構造変更または出走停止を求める場合がある。
- ・船首船尾には各1カ所ずつ緊急曳航用の金具（バウアイ・直径14mmのロープを通

ること) とロープ 5 m (自分の船を曳航できる強度のものでロープの先端にロープが浮くように浮きをつけること) を取り付けること。(例図 2 参照)

・船体のサイズ (例図 1 参照)

長さ…4 m以内 (ゼッケンステッカー以外の全てを含む)

幅……1.5 m以内 (全てを含む)

高さ…水面上 0.5 m以内 (ゼッケンステッカーを含む)

水面下 0.5 m以内 (船外モーター、スクリューを含む)

※ただし、高さとは、ドライバーが乗船した状態のことを示す。

※会場搬入時に行う主催者の船体検査で、喫水線を自己申告すること。

(その他)

- ・船体の移動及び保管のために必要とする船台は、参加者が用意すること。
- ・船体には、主催者から当日支給するゼッケン (縦 21 cm × 横 30 cm) を競技中船尾に添付するための板またはフレームを必ず取り付けておかねばならない。(例図 1 参照)
- ・船体に取り付ける掲示物等の規制 (例図 2 参照)
- ・船体 (浮体及び基本骨格) は 1 チームにつき 1 艇とし予備の船体は認めない。
- ・水中翼船は認めない。(船底が水面を離れる構造の船は水中翼船とみなす。)

その他

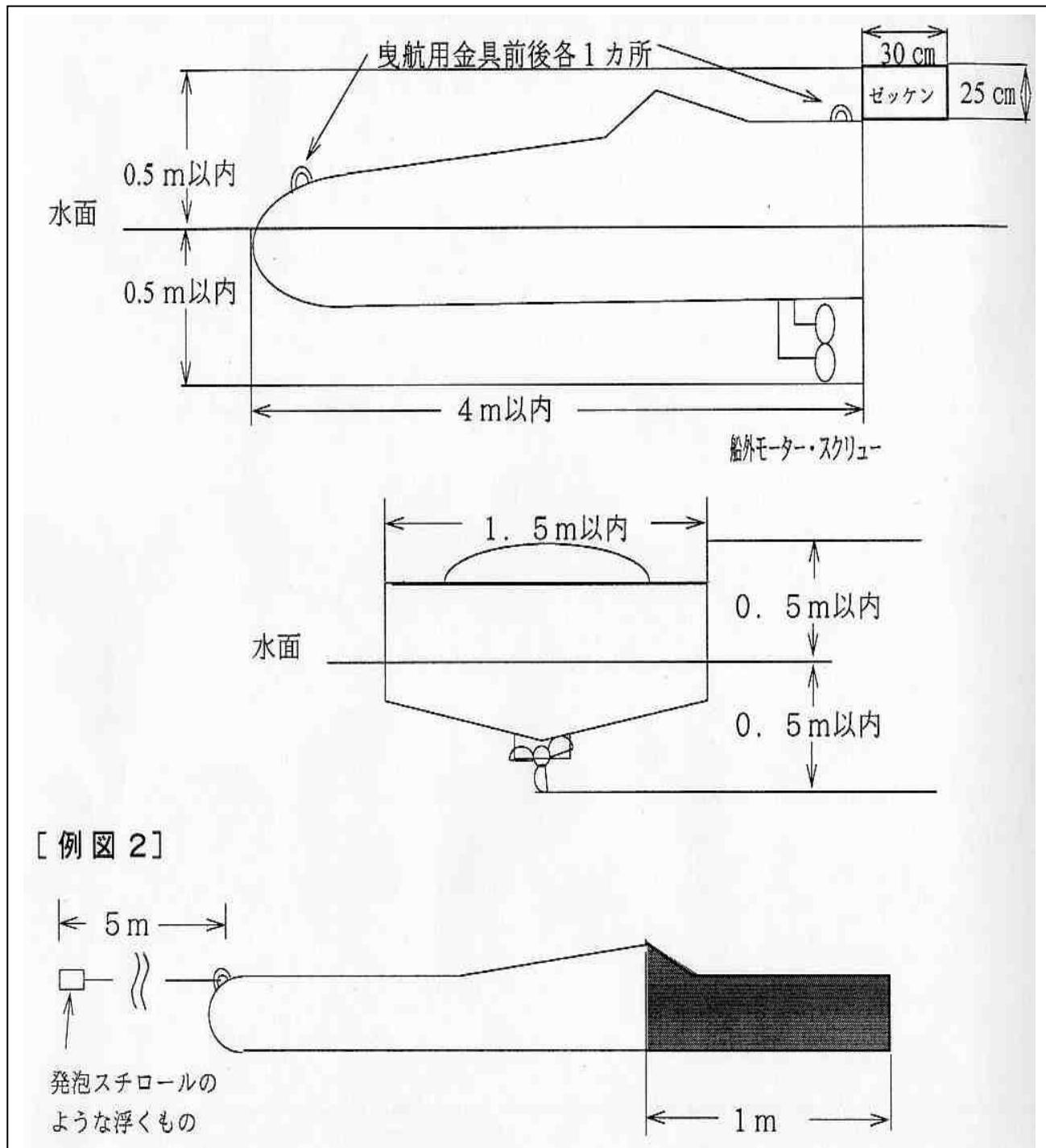
1. 本要項に記載されていない競技に関する細則及び指示事項は、別に文書によって通知する。
2. 本要項の解釈についての疑義は主催者が判定する。
3. 本要項は主催者の都合で変更される場合があり、その変更内容は、文書によって通知する。

[例図1]

※注意事項

水面上の高さはゼッケンステッカーも含む。

ドライバーが乗った状態とする。



※長さ及び水面下の高さは、船外モーター・スクリューも含む。

※両舷の **■** の箇所（船尾より 1 m）は船体に取り付ける掲示などの規制範囲とする。

そこには主催者よりステッカーを掲示する場合がある。

※ハル（船体）等に表示してある製造メーカー名などについては規制外とする。

宿泊のご案内

会場近くには下記の宿泊施設がありますので、各チームで直接お申し込みください。

| 施設名 | 住所 | 電話番号 |
|------------------------------|-----------------|-----------------|
| 柳川藩主立花邸 御花 | 柳川市新外町1 | (0944) 73-2189 |
| 白柳荘 | 柳川市新町16 | (0944) 73-1188 |
| さいふや旅館 | 柳川市椿原町45 | (0944) 72-2424 |
| 亀の井ホテル柳川 | 柳川市弥四郎町10-1 | (0944) 72-6295 |
| 柳川ビジネスホテル | 柳川市三橋町高畠243-1 | (0944) 74-1500 |
| 柳川温泉センターホテル輝泉荘 | 柳川市三橋町柳河874 | (0944) 73-3182 |
| ホテルニューガイア柳川 | 柳川市三橋町下百町1-14 | (0944) 75-1705 |
| ホテルルートイン柳川 | 柳川市三橋町下百町210-10 | (050) 5824-4101 |
| 柳川ゲストハウス ほりわり | 柳川市沖端町7 | (090) 5803-4073 |
| hatago | 柳川市京町62-1 | (0944) 32-8105 |
| むつごろうランド | 柳川市橋本町389 | (0944) 72-0819 |
| 夜明の宿 | 柳川市沖端町68-2 | (0944) 72-6256 |
| Kyushu Rv Resort in Yanagawa | 柳川市東蒲池1558 | (0944) 74-3777 |

(順不同)

※ 主催者では、参加者の宿泊に関するトラブルには一切責任を持ちませんのでご了承ください。